

県域 絶滅危惧Ⅱ類



環境省レッドリスト(2018) 準絶滅危惧(NT)

風のない日には、沿岸部の水面近くを泳ぐ姿を見ることが出来る。北潟湖産 全長:約20cm

サヨリ科 サヨリ属

【全長】20cm

クルメサヨリ

学名: *Hyporhamphus intermedius*

分布域

本州と九州の一部に分布する。

生息域

大きな河川の河口部や汽水湖などに生息する。



槍状に長く伸びた下アゴが特徴的。

体形は細長く特徴的。下顎が槍状に突出し非常に長い。体色は透明感のある銀白色で美しい。一生を汽水域の止水環境に生息する。食性は雑食性で動物プランクトンや植物プランクトン・小型の甲殻類などを食べる。産卵期は春～初夏で長い糸の付いた卵を、水草やヨシなどに絡み付けるように産卵する。河口部や汽水域の護岸工事が進むにつれ、本種の生息環境が破壊され生息地・生息数とも激減している。福井県でも絶滅危惧Ⅱ類に指定され、出会える機会は少ない。

水槽での飼育は困難。スレに非常に弱い。海水比10%前後の汽水で、活きた小型のアミエビ類を与える。頭部を横に振ってエサを食べる。

在来種

汽水魚

※ クルメサヨリは河口部や汽水湖の岸近くの限られた環境にだけ生息する。生息地の護岸工事などが進み、ヨシ帯などの繁殖場所や生息環境が破壊され絶滅が危惧される。